

## 防災対策は万全ですか？

災害から身を守り、被害を最小限に食い止めるには、日頃の備えがとても大切です。このハザードマップには、防災に関する情報をはじめ、避難所の位置や浸水被害、土砂災害が発生する危険のある箇所を地図上に示しています。災害に備えて必要となる情報は何か、命を守るためにはどのように行動すべきかを予め考えておき、家庭や地域の防災対策に役立ててください。

## ハザードマップの使い方

### 1 自宅の位置を確認しましょう

災害が想定される位置を確認しましょう。自宅がある場所は、どのような災害が予想されるのかを地図をみて確認しましょう。



### 2 自宅付近の避難所を確認しましょう

災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。



### 3 災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう

避難経路は浸水被害や土砂災害などの災害が想定される場所を避けるようにしましょう。

### 4 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

## 目次

● 川のはん濇	P.1	● 指定避難所	P.10
● 土砂災害	P.2	● 指定緊急避難場所・福祉避難所・津波避難ビル	P.11
● 風水害・台風	P.3	● 要配慮者利用施設一覧	P.12
● 風水害への備え	P.4	● 地域防災力と災害時要配慮者への対応	P.13
● 水害に関する情報	P.5	● ハザードマップの見方	P.14~15
● 避難情報	P.6	● 豊後高田市 全体図(索引図)	P.16
● 非常持ち出し品	P.7	● ハザードマップ	P.17~66
● 避難時に注意すること	P.8	● 我が家の防災メモ・防災情報の入手方法	P.67
● 避難行動判定フロー	P.9	● マイ・タイムライン(風水害)	P.68~69
		● 防災に関する知識	裏表紙

発行：豊後高田市 制作・著作：株式会社ゼンリン大分営業所 作成：令和6年3月

「この地図は、豊後高田市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画図を使用して得たものである。」(承認番号都第1128001号)

「この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号24-41号 平成24年8月3日)」

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 167-180号」

「JIS Z 8210 広域避難場所、避難所(建物)」

(禁無断複製)©2024 ZENRIN CO., LTD.

# 川のはん濇

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

## 川のはん濇

雨量の増加によってもたらされるはん濇には、川から水があふれたり、堤防が決壊して起こる「外水はん濇」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水はん濇」の2タイプがあります。

### 外水はん濇

大雨によって、河川を流れる水が大幅に増え、堤防が決壊したり、堤防から水があふれ出す現象です。



### 内水はん濇

排水能力を超える多量の雨が降り、排水が追い付かず土地や建物が水に浸かる現象です。



## 大雨によって想定される被害

### 道路の冠水

エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。



### 床下・床上浸水

流れ込んでくる水は泥水であり、水がひいた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。



### 家屋の倒壊

河川沿いでは、家屋が倒壊する可能性があり、命の危険性もあります。



## 市の取組

洪水災害の未然防止対策について(ため池の水位調節)



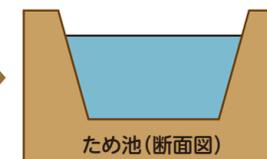
市では台風や大雨が予想される際に、ため池の貯水量を事前に調節して、河川への直接的な流入を最小限にとどめる「洪水災害の未然防止対策」を令和2年度から実施しています。

この未然防止対策は、ため池が決壊した際、住家や公共施設への被害や、人的被害を与えるおそれがある「防災重点ため池」で行っており、関係する「ため池管理人」、「自治会」、「消防団」に協力依頼し、協定を締結しました。

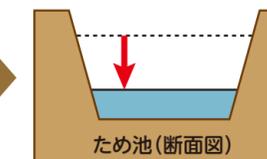
### 協定のイメージ



大雨が予想され、市から管理者等へ要請



大雨が発生する前に事前にため池の水を抜く



事前放流した分だけ、雨がため池に貯まる(河川への直接の流入量が減少)



河川の水位をさげることで、決壊や浸水害を防ぐ

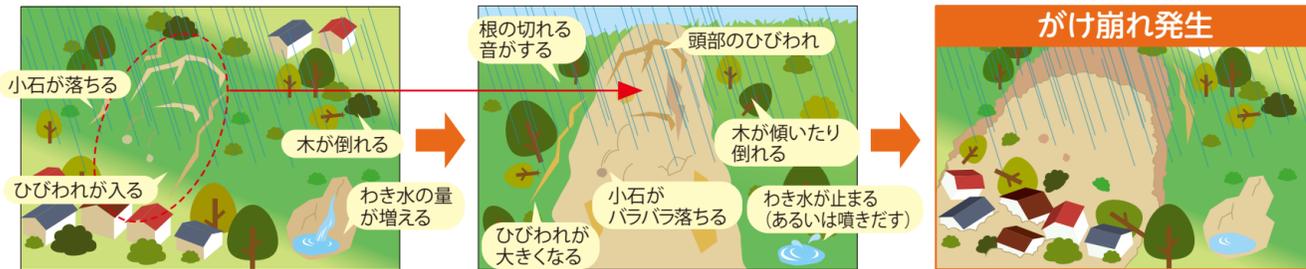
# 土砂災害

## 土砂災害

土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)が発表されていなくても、普段と異なる状況(土砂災害の前兆)に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

### がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



### 土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40km という速度で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

# 風水害・台風

## 大雨注意報、警報、特別警報の発表のめやす

### 大雨注意報

災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報

- ・表面雨量指数基準 10
- ・土壌雨量指数基準 85

### 大雨警報

重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報

- ・表面雨量指数基準 16
- ・土壌雨量指数基準 110

### 大雨特別警報

台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に呼びかけて行う予報

・表面雨量指数基準および土壌雨量指数基準の数値は、令和5年6月8日に大分地方気象台が発表した基準値となります。  
・表面雨量指数は、短時間強雨による浸水リスクの高まりを示す指標で、降った雨が地表面にたまっている量を示す指数。  
・土壌雨量指数は、降雨による土砂災害リスクの高まりを示す指標で、土壌中にたまっている雨水の量を示す指数。

### 雨の強さと降り方

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 10mm以上~20mm未満	1時間雨量 20mm以上~30mm未満	1時間雨量 30mm以上~50mm未満	1時間雨量 50mm以上~80mm未満	1時間雨量 80mm以上
ザーザーと降り、雨の音で話し声が良く聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	どしゃ降り、傘をさしてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。側溝等があふれる。	バケツをひっくり返したように降り、道路が川になる。危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

### 風の強さと吹き方

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10m/秒以上~15m/秒未満	15m/秒以上~20m/秒未満	20m/秒以上~30m/秒未満	30m/秒以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。多くの樹木が倒れる。

### 台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさの階級	風速15m/秒以上の半径	強さの階級	最大風速
大型(大きい)	500km以上~800km未満	強い	33m/秒以上~44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上~54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

### 集中豪雨

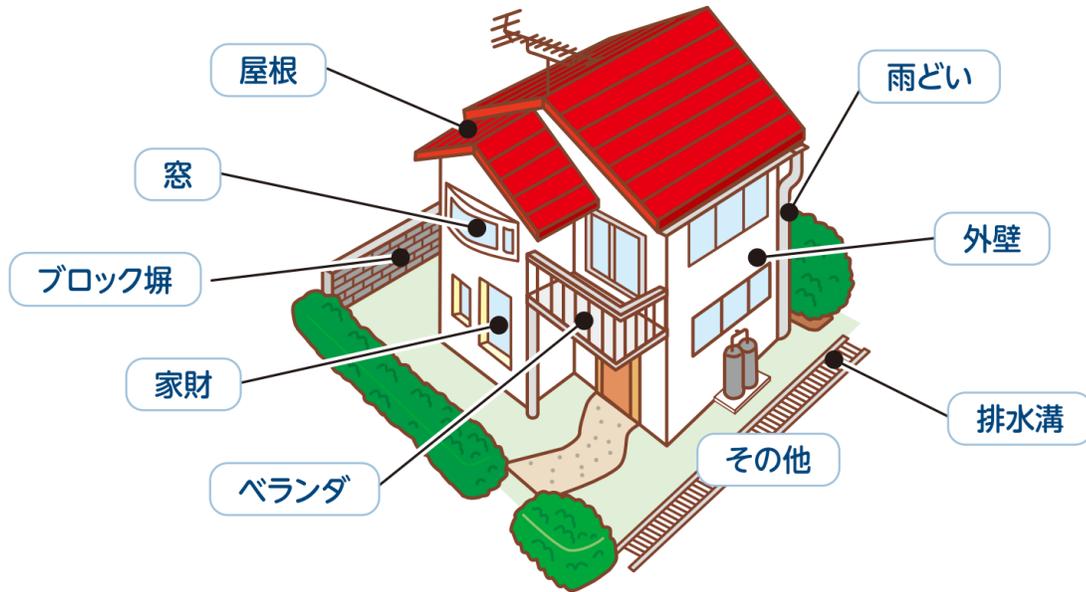
集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は比較的困難で、中小河川のはん濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

### ●防災対策の事例

- テレビやラジオなどの気象情報に注意する。
- 家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオ等を用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常持ち出し品を準備しておく。
- 危険な地域にお住まいの方は、いつでも避難できるよう準備をする。

# 風水害への備え

## 家の周りを確認し、対策をしておきましょう



### 屋根

- アンテナは不安定ではないか
- トタンがめくれていないか
- 瓦のひび割れ、はがれはないか

### 家財

- 貴重品などは、すぐに持ち出せるようになっているか
- 濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動しているか

### 雨どい

- 雨どいに落ち葉などがつまっていないか
- 継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはないか

### 外壁

- 壁に亀裂はないか

### その他

- 商店などでは看板のぐらつきがないか
- ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか
- 庭木には添え木をしているか
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定されているか

### 窓

- 窓枠のがたつきはないか
- 雨戸にがたつきはないか

### ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものはないか

### ブロック塀

- ブロック塀は崩れそうになっていないか

### 排水溝

- 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか

# 水害に関する情報

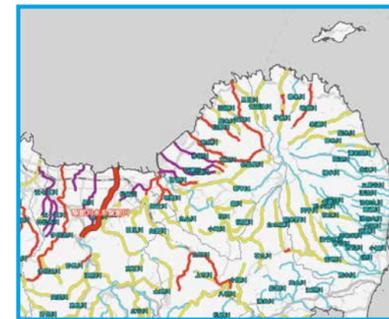
## 危険度分布に関する情報

キキクル 危険度分布 🔍 検索

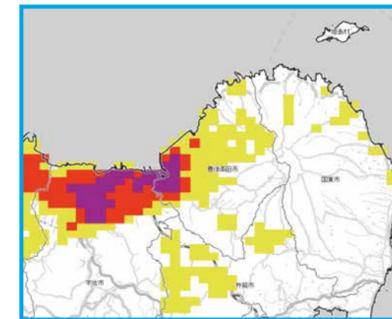
気象庁では、大雨による洪水、浸水害、土砂災害の危険度を危険度分布(キキクル)のホームページで色分けして掲載しています。紫色は危険度が高いことを示しています。

※大分地方気象台より画像提供

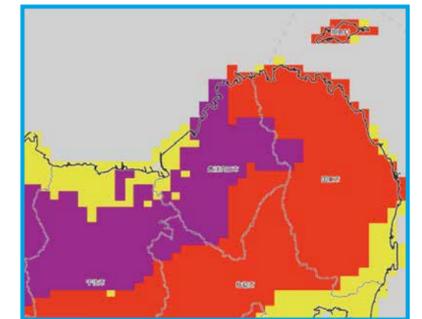
### 洪水警報の危険度分布



### 大雨警報(浸水害)の危険度分布



### 大雨警報(土砂災害)の危険度分布



色がついている箇所はこんなところに注意が必要です!

河川沿い

周囲より低い場所

がけ・溪流付近

## 河川の水位に関する情報

大分県 水位計 🔍 検索

### レベル5 はん濫発生(はん濫発生情報)

桂川(泉橋) 真玉川(千原橋) 竹田川(樋の口橋) 寄藻川(寄藻橋)

豊後高田市 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導  
住民 新たにはん濫が及ぶ区域では避難を検討・判断

### レベル4 はん濫危険水位(はん濫危険情報)

4.70m 1.90m 2.90m 3.50m

豊後高田市 避難指示の発令を判断し、状況に応じて発令  
住民 避難を完了

### レベル3 避難判断水位(はん濫警戒情報)

3.90m 1.60m 2.50m 3.00m

豊後高田市 高齢者等避難の発令を判断し、状況に応じて発令  
住民 避難を判断

### レベル2 はん濫注意水位(はん濫注意情報)

3.50m 1.40m 2.30m 2.60m

住民 はん濫に関する情報に注意

### レベル1 水防団(消防団)待機水位(発表なし)

2.50m 0.80m 1.30m 1.90m

普段の水位

※豊後高田市が発令する避難情報は、状況に応じて既定の水位に達する前に発令することがあります。

# 避難情報

## 警戒レベルを用いた避難情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	キキクル はん濫発生情報 災害切迫	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
〜警戒レベル4までに必ず避難!〜					
大雨の数時間〜2時間程度前	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	危険 はん濫危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
大雨の半日〜数時間前	大雨警報 ※高潮警報に切り替える可能性が高い 洪水警報 注意報	警戒 はん濫警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨の数日〜約1日前	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報 高潮注意報 大雨注意報 洪水注意報	注意 はん濫注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
	早期注意情報 (警報級の可能性)		心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

※夜間〜翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

### 自主避難について

#### 危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わない場合もあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

## 避難に関する2つの情報

災害の危険性が高まった場合、市は避難に関する情報を発令します。  
2種類の情報は状況の深刻度に応じて発令しますので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

### 警戒レベル3・高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況。



- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持ち出し品の用意など避難の準備を始めます。

### 警戒レベル4・避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。



- まだ避難していない住民は直ちに避難します。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります。

# 非常持ち出し品

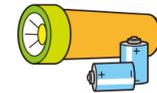
非常持ち出し品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。災害発生時に最初に持ち出す非常持ち出し品と、災害から復旧するまでの数日間を支える非常備蓄品を分けて用意しておきましょう。

## 非常持ち出し品

〜災害発生時に最初に持ち出すもの〜

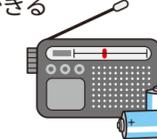
### 懐中電灯

できれば一人に一つずつ用意。予備の電池も忘れずに(発電式のものもある)。



### 携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの。手動で充電できるものや、携帯電話の充電ができるものなどもある。



### 非常食・水

缶詰やインスタント食品など、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入りが便利。



### 貴重品

多少の現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証、住民票のコピーなど。公衆電話を利用するため10円玉も。



### 救急医薬品

傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬などのほか、常備薬品やお薬手帳があれば必ず用意する。



### その他

ヘルメット、下着類、軍手、ライター、ナイフ、ティッシュなど。



## 非常備蓄品

〜復旧するまでの数日間を支えるもの〜

### 食料品

缶詰やレトルト食品など非常食3日分を含む数日分を備蓄。高齢者や子ども、アレルギー体質者など配給される食事をとるのが難しい家族がいる場合には、その事情に合った食料を多めに準備。

### 水

飲料水は大人一人あたり1日3リットルが目安で、最低3日分は用意する。水の配給を受けるためのポリ容器などがあると便利。

### 工具

ロープ、バール、はさみ、のこぎり、ジャッキ、スコップなど。

### 燃料

卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベなど。

### その他

簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、マスク、シート、照明器具、筆記用具、予備のメガネなど。



## 感染症対策のために!

〜非常用持ち出し袋に追加すべき物〜

非常食や飲料水などだけでなく、感染を予防するため、こうした持ち物も事前に非常用持ち出し袋に入れておくようにしましょう。

### マスク

### ウェットティッシュ

### 記録用ノート

### 石鹸・ハンドソープ

### 手指消毒用アルコール

### 筆記用具

### 体温計

### 家庭での常備薬

### ビニール袋(大小)

※非常用持ち出し袋は、家族全員がわかる場所に保管しましょう。



## 準備をしておかないとどうなる?

大規模災害が発生した場合、水道施設などが使用できなくなったり、道路の損壊などにより防災機関による救援活動がすぐにできないおそれがあります。災害発生後の数日間は非常備蓄品で生活できるよう準備をしておきましょう。



非常備蓄品の準備

# 避難時に注意すること

## 火元(ガス、電気)、戸締りのチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょう。  
また、通電火災を防止するため、ブレーカーを落としましょう。  
非常持ち出し品は必要最小限になるようまとめましょう。

閉栓



## 車での避難は控える!

原則、徒歩で避難。  
浸水すると動けなくなり、緊急車両の通行の妨げになります。



## 速やかに避難を!

動きやすい格好で、できれば2人以上で避難しましょう。  
災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに家へ帰らないようにしましょう。

## 洪水・土砂災害での避難の仕方

### 歩ける深さに気をつける!

歩ける深さは平均約50cm。  
水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう!



### ロープでつなぐ!

はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょう!  
また、水面下には危険が潜んでいます。長い棒を杖がわりに安全確認をしてください。

### 履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。  
ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



## もしも、土石流に遭遇したら 逃げ方に注意しましょう!

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。  
土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。



## 直前対策!台風が接近してきたら

### 屋外では

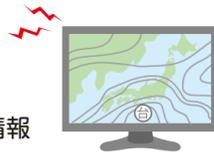
- 物干し竿や物干し台は寝かせ、自転車なども風で飛ばされないように柱などに結びつけておく。
- 庭木に支柱を立てたり、風で飛ばされそうな植木鉢やゴミ箱などは屋内に入れておく。
- 側溝にたまった落ち葉などを取り除き、排水を良くする。雨どい・雨水ますの掃除もしておく。
- 窓や雨戸をしっかり閉め、外側から板などで補強しておく。
- かわらやトタンが飛ばされないように補強しておく。
- 浸水の危険がある場合は、日頃から土のうなどを準備しておく。



### 雨や風が強くなる前に余裕をもって対策を!

### 屋内では

- テレビやラジオなどの気象情報に十分注意する。
- 浸水に備えて、家財道具や食料・衣類・寝具などの生活用品は高い場所へ移動させ、貴重品などの非常持ち出し品を準備する。
- 懐中電灯や予備の電池を準備する。
- 断水に備えて、飲料水を確保する。浴槽に水をはるなどして、トイレなどの生活用水も確保する。
- 外からの飛来物の飛び込みに備えて、カーテンやブラインドは下ろしておく。



# 避難行動判定フロー

必ず  
取組み  
ましょう

避難行動判定フローに従い、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

## あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップ※1で自宅がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※1ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、豊後高田市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※2、立退き避難(安全な場所に移動)が必要です。

例外

※2浸水の危険があっても、以下のすべてを満たす場合は屋内安全確保(自宅にとどまり安全を確保すること)も可能です。  
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。  
②浸水する深さよりも高いところにいる。  
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、豊後高田市が指定している指定避難所に避難しましょう。

はい

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4避難指示が出たら、豊後高田市が指定している指定避難所に避難しましょう。

あなたがとるべき行動を知ったら

マイ・タイムラインを作りましょう(P68、P69)

# 指定避難所

## 指定避難所

指定避難所とは、災害の危険性がなくなるまでの間、または災害により自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、避難生活を送るための施設です。

市は気象状況や地震・洪水・土砂災害・津波・高潮など災害の種類、災害規模を勘案して避難所を開設します。

開設や閉鎖の情報は、市ホームページやケーブルテレビなどでお知らせしますので、最新の情報を確認してください。

※緊急の場合は指定避難所にとらわれず、近くの安全な場所に避難してください。

<凡例>

○:使用可、△:災害規模により使用可・不可、×:使用不可

- 地震・・・耐震性のある避難所
- 洪水・・・洪水時の浸水想定区域外にある避難所
- 土砂・・・土砂災害時の危険区域外にある避難所
- 津波・・・津波発生時の浸水想定区域外にある避難所
- 高潮・・・高潮時の浸水想定区域外にある避難所

地区	NO	施設名	所在地	海拔(m)	収容人数	耐震	地震	洪水	土砂	津波	高潮
高田	1	豊後高田市高田庁舎(2階)	是永町39-3	6.15	940	○	○	△	○	○	△
	2	高田小学校校舎(2階以上)	新地1460	4.04	770	○	○	△	○	○	△
	3	勤労青少年ホーム(2階講習会室大)	新町1007-4	3.50	58	○	○	△	○	○	△
	4	隣保館(2階)	新地1278	4.63	70	×	×	△	○	○	×
	5	西土居集会所	来縄2475-1	7.16	50	×	×	○	○	○	○
	6	白石集会所	界1611	6.89	50	×	×	○	○	○	○
	7	犬田老人憩いの家	界398	10.00	30	○	○	○	○	○	○
	8	榑林老人憩いの家	界1200-4	8.60	40	○	○	○	○	○	○
桂陽	9	高田中学校	玉津473	18.95	370	○	○	○	○	○	○
	10	桂陽小学校	玉津1053	12.42	210	○	○	○	○	○	○
	11	大分県立高田高等学校	玉津1834-1	16.60	610	○	○	○	○	○	○
	12	中央公民館	玉津987	12.08	660	○	○	○	○	○	○
	13	健康交流センター花いろ	美和1335-1	11.69	770	○	○	×	○	○	○
河内	14	河内中学校(2階以上)	佐野4993	28.05	220	○	○	△	○	○	○
	15	河内小学校(2階)	佐野2017	28.85	230	○	○	△	○	○	○
	16	河内公民館	佐野2017	28.80	70	○	○	×	○	○	○
田染	17	田染中学校(2階)	田染池部1742	86.79	260	○	○	△	○	○	○
	18	田染小学校(2階)	田染相原50	86.85	230	○	○	△	○	○	○
都甲	19	東都甲公民館	新城1885-3	130.13	110	○	○	○	○	○	○
	20	並石ダムグリーンランド	一畑1587	208.70	50	○	○	○	×	○	○
	21	旧都甲小学校体育館	新城83	78.03	150	○	○	○	○	○	○
	22	戴星学園	松行363	72.08	260	○	○	○	△	○	○
	23	西都甲公民館	松行55	57.42	80	○	○	○	×	○	○
草地	24	草地小学校	草地292-2	9.08	180	○	○	○	○	○	○
	25	草地公民館	草地292-2	9.77	120	○	○	○	○	○	○
呉崎	26	呉崎小学校(2階以上)	呉崎1551	2.10	144	○	○	△	○	×	△
中真玉 西真玉 上真玉	27	真玉公民館(3階)	中真玉2144-12	4.76	170	○	○	△	○	○	△
	28	真玉体育センター	西真玉3331	15.76	620	○	○	○	○	○	○
	29	真玉小学校	中真玉5809	20.37	420	○	○	○	△	○	○
白野	30	白野公民館	白野3077	12.88	80	○	○	×	○	○	○
	31	白野小学校	白野2874	19.51	230	○	○	○	△	○	○
三浦	32	三浦小学校	堅来4455	13.17	150	○	○	○	△	○	○
三重	33	旧三重小学校	上香々地4389	61.08	180	○	○	○	×	○	○
香々地	34	香々地中学校(2階以上)	香々地3400	7.16	260	○	○	△	○	○	○
	35	香々地公民館(2階)	見目110	7.64	350	○	○	△	○	○	○
	36	香々地青少年の家	香々地5151	30.94	480	○	○	○	○	○	○

# 指定緊急避難場所・福祉避難所・津波避難ビル

## 指定緊急避難場所

指定緊急避難場所とは、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れる緊急時(一次的)に避難する場所です。

地区	NO	施設名	所在地	海拔(m)
高田	1	高田市民グラウンド	水崎1096	13.80
	2	来縄児童公園	来縄316-1	12.92
	3	白石児童公園	界1606-2	9.36
	4	割掛遺跡史跡公園	来縄3423	17.50
桂陽	5	高田中学校グラウンド	玉津473	18.95
	6	桂陽小学校グラウンド	玉津1053	12.42
	7	大分県立高田高等学校グラウンド	玉津1834-1	16.60
	8	旧美和分校グラウンド	美和1057	35.02
	9	中核工業団地「丘の公園」	かなえ台42	90.81
河内	10	河内中学校グラウンド	佐野4993	28.05
	11	河内小学校グラウンド	佐野2017	28.85
田染	12	田染中学校グラウンド	田染池部1742	86.79
	13	田染小学校グラウンド	田染相原50	86.85
都甲	14	旧都甲小学校グラウンド	新城83	78.03
	15	戴星学園グラウンド	松行363	72.08
草地	16	草地小学校グラウンド	草地292-2	9.08
呉崎	17	和光保育園園庭	新栄1220-2	6.40
真玉	18	真玉小学校グラウンド	中真玉5809	20.37
	19	旧真玉火葬場跡地	中真玉555	28.10
	20	旧真玉小学校グラウンド	西真玉3320	20.36
	21	大村グラウンド	西真玉3081-1	16.24
	22	旧上真玉小学校グラウンド	黒土10	58.95
白野	23	白野小学校グラウンド	白野2874	19.51
	24	真玉市民グラウンド	白野4315-2	20.36
	25	粟嶋公園	白野7-6	27.20
三浦	26	三浦小学校グラウンド	堅来4455	13.17
三重	27	旧三重小学校グラウンド	上香々地4389	61.08
香々地	28	香々地中学校グラウンド	香々地3400	7.16
	29	長崎鼻リゾートキャンプ場	見目4060	18.70
	30	香々地市民グラウンド	香々地6517	42.00

## 津波避難ビル

自然地形の高台に避難するのが困難な場合に、一時的に避難を行う建物です。

NO	施設名	所在地	階数
1	NTT豊後高田ビル	高田744	4階
2	九州特殊土木株式会社	高田2878	3階
3	加宝インテックビル	金谷町1185	5階
4	エクレールヤスタ	新町988	7階
5	パークサイド野上II	新地1017	5階

## 福祉避難所

福祉避難所とは、一般の避難所では生活に支障をきたす要配慮者用に開設する避難所です。

NO	施設名	所在地
1	養護老人ホーム六郷園	新地1274
2	健康交流センター花いろ	美和1335-1
3	障害者支援施設コスモス	美和1684
4	並石ダムグリーンランド	一畑1587
5	特別養護老人ホームやすらぎの里	呉崎755-1
6	スパランド真玉	城前156-1
7	特別養護老人ホーム真寿苑	白野4298-3
8	デイサービスセンター真寿苑	白野4298-3
9	デイサービスセンター周防苑	白野4335-3
10	豊後高田市介護支援センター	白野4335-3
11	香々地青少年の家	香々地5151
12	豊後高田市生活支援ハウス	見目104

### 避難について話し合いましょう

#### 1. 自宅等付近の避難所を確認しましょう。

災害種別ごとに避難所を地図で確認しましょう。



#### 2. 避難所までの経路を設定し、実際に歩いてみましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な区域がある場合には、避難経路を見直しましょう。



#### 3. 確認した結果をもとにマイ・タイムラインを作成しましょう。

確認した結果をハザードマップに反映し、マイ・タイムラインをつくってみましょう。(P68、P69)



# 要配慮者利用施設一覧

社会福祉施設、病院、学校、保育所等、災害の際に配慮が必要な方が利用される施設の情報です。

- 留意点**
- ①要配慮者利用施設兼指定避難所・福祉避難所場合があります。
  - ②児童クラブは小学校内にあります。そのため、所在地にカッコ書きで追記しています。
  - ③事業所の開業・閉業等に伴い、一覧に変更が生じる可能性があります。最新の一覧は市ホームページをご確認ください。



市ホームページ

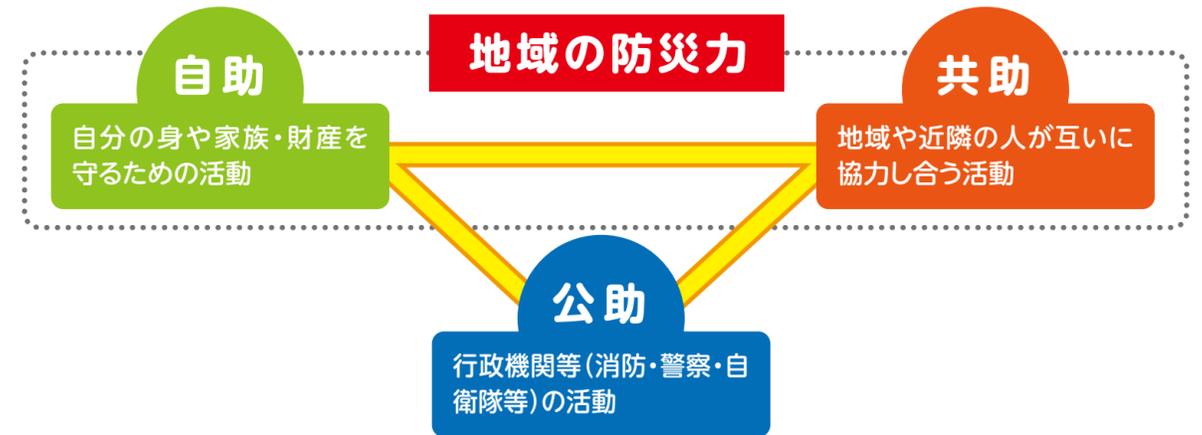
NO	施設名	所在地
1	複合型障がい者施設 大樹	高田 2110-6
2	サンライフ・オリーブ高田西館	新地1155
3	ケアプレイス オリーブ	新地1157
4	デイサービス オリーブ高田	新地1169
5	ライフコート高田中央	新地1170
6	高田中央病院	新地1176-1
7	さくらライフプランニング	新地1176-1
8	居宅介護支援事業所 オリーブ高田	新地1176-4
9	六郷園	新地1274
10	高田小学校	新地1460
11	たかだ児童クラブ	新地1460 (高田小学校内)
12	チャイルドハート高田2番館	新町2825-4
13	児童デイサービスひまわり	新町2828
14	サンライフ・オリーブ高田東館	本町1252
15	さわらび保育園	来縄2586
16	わくわくぶらす	玉津245
17	玉津座銀鈴堂	玉津419-1
18	実りえ	御玉89-2
19	花っこルーム高田	美和1335-1
20	夢いろ幼稚園	美和1343
21	たんぼぼ児童クラブ	佐野2017 (河内小学校内)
22	河内小学校	佐野2017
23	河内保育園	佐野2043
24	河内中学校	佐野4993
25	戴星学園	松行363
26	都甲っ子のびのびクラブ	松行363 (戴星学園内)
27	わこう児童クラブ	呉崎1535-1 (呉崎幼稚園跡)
28	呉崎小学校	呉崎1551
29	グループホーム 光	呉崎2005-1
30	児童デイサービス虹のわ	呉崎2680-1
31	あっとほーむ玄々堂・高田	呉崎3158-2
32	千嶋病院	呉崎738-1

NO	施設名	所在地
33	希の里	呉崎755
34	希の里介護保険支援室	呉崎755
35	グループホーム 和の里	呉崎755
36	特別養護老人ホーム やすらぎの里	呉崎755-1
37	認知症対応型デイサービスセンター やすらぎの里	呉崎755-1
38	グループホーム ゆうあい	呉崎760-2
39	高田みづほ園	呉崎760-7
40	地域活動支援センター すばる	呉崎760-8
41	みづほ障がい者相談支援センター	呉崎760-8
42	グループホーム やすらぎの里	呉崎775-10
43	やすらぎの里デイサービスセンター	呉崎775-10
44	田染っ子児童クラブ	田染相原50 (田染小学校内)
45	田染小学校	田染相原50
46	田染中学校	田染池部1742
47	真玉中学校	中真玉117
48	花っこルーム真玉	中真玉2144-12
49	真玉小学校	中真玉5809
50	キラリいろ幼稚園	中真玉5809
51	またま児童クラブ	中真玉5809 (真玉小学校内)
52	臼野小学校	臼野2874
53	三浦小学校	堅来4455
54	浦っ子児童クラブ	堅来4455 (三浦小学校内)
55	香々地中学校	香々地3400
56	香々地小学校	香々地3546
57	かかぢ児童クラブ	香々地3546 (香々地小学校内)
58	生活支援ハウス (デイサービスセンターふれあい館)	見目104
59	花っこルーム香々地	見目105
60	ケアサポート香々地	見目3915-1
61	サングレイス香々地	見目3915-1
62	香々地保育園	見目705-13

# 地域防災力と災害時要配慮者への対応

## 地域防災力

災害発生時には、自助・共助・公助の連携により人的・物的被害を軽減することができます。ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動(公助)は交通網の寸断やマンパワー不足により十分対応できない可能性があるため、「自分の身は自分で守る(自助)」とともに、「地域での助け合い(共助)」による地域防災力が重要となります。



## 災害時要配慮者への対応

### 高齢者や病気などの方

お年寄りや病気の方、子どもなどは、早めの避難が必要です。みなさんと協力して避難しましょう。



### 耳の不自由な方

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



### 目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらい、ゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。



### 体の不自由な方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で!昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。



### 日本語の不自由な外国人の方

日本語での情報が十分理解できない場合があるため、平易なわかりやすい表現で危険を伝え、避難誘導しましょう。



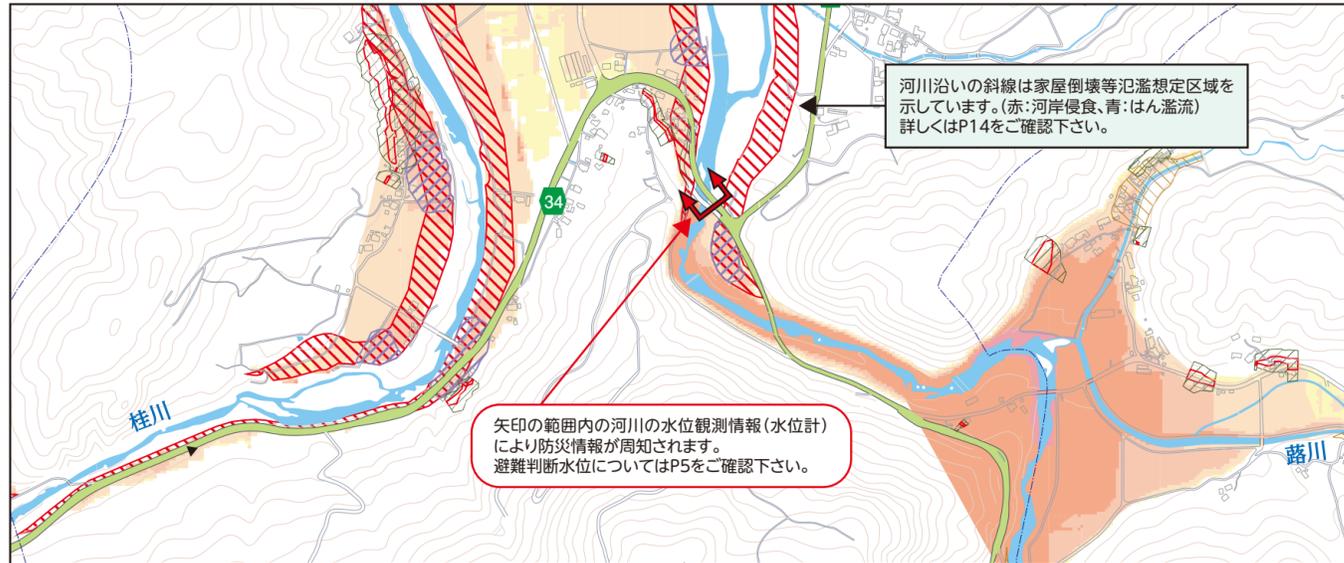
### 妊婦や乳幼児がいる家庭

出産に向けた心身の健康状態を良好に保つため、生活環境などに配慮しましょう。乳幼児は感染予防や体温保持などに配慮しましょう。



# ハザードマップの見方

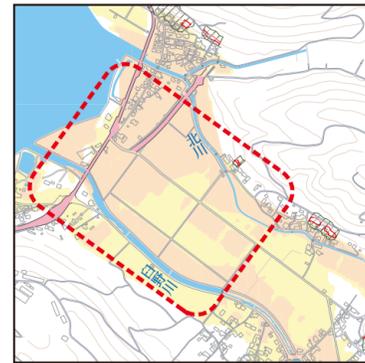
## 2種類の浸水想定区域図について



## 水位周知河川(令和元年度指定)と中小河川(令和5年度指定)

水位周知河川(赤矢印)の区間は、令和元年度に指定された洪水浸水想定区域図になります。市では水位周知河川に設置されている水位計の情報を基に、避難情報の発令等を行います。なお、令和5年度に新たに中小河川の洪水浸水想定区域が指定されたため、市では洪水ハザードマップの見直しを行いました。

また、右図のように隣接する河川においては、それぞれの浸水想定区域図が重なり合う地区があります。本ハザードマップでは浸水深が深いほう(被害想定が大きいほう)の河川の浸水想定区域図を採用し、マップ掲載しています。※足し合わせではありません。そのため、右図のような地区は大雨の際に2つの河川に注意が必要です。



(例:白野川と北川)

## 斜線は要注意→家屋倒壊等はん濫想定区域

家屋の倒壊をもたらすような河岸侵食やはん濫流が発生するおそれがある堤防沿いの地域は、早めの立退き避難が必要です。なお、家屋倒壊等はん濫想定区域は水位周知河川のみ指定されています。(令和元年度指定)

これらの区域では早めの立退き避難を徹底してください

### 河岸侵食:赤斜線

河岸が削られて家屋が崩落するおそれがあります。

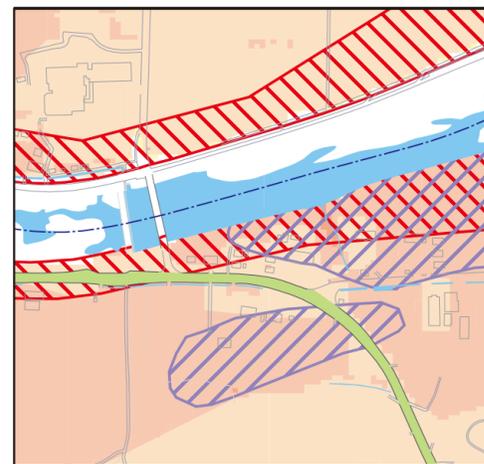


### はん濫流:青斜線

堤防の決壊やはん濫流により木造家屋の倒壊のおそれがあります。



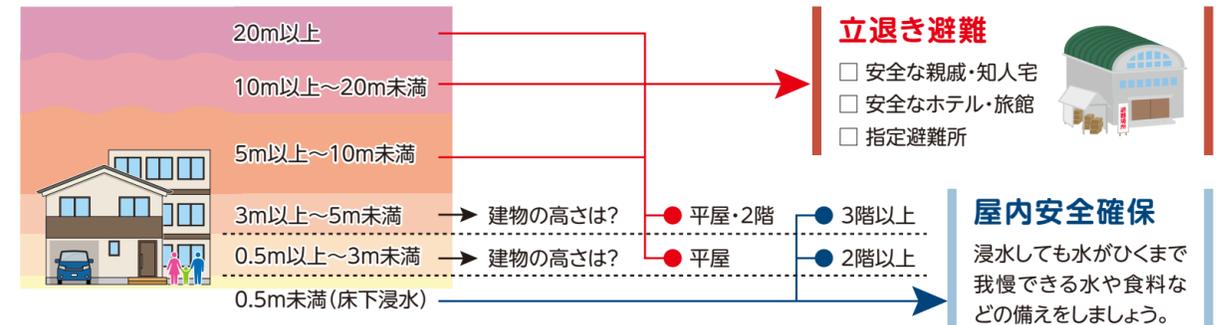
## ●ハザードマップでの表記例



## 地図面凡例の見方

洪水浸水想定	浸水深区分	土砂災害の危険がある場所	急傾斜地	土石流	地すべり
	20m以上の区域		警戒区域	警戒区域	
	10m以上~20m未満の区域		特別警戒区域	特別警戒区域	
	5m以上~10m未満の区域				
	3m以上~5m未満の区域				
	0.5m以上~3m未満の区域				
	0.5m未満の区域				
					警戒区域

## 自宅・職場の浸水深をチェック



## 土砂災害警戒区域をチェック

土砂災害の危険がある場所		
急傾斜地	土石流	地すべり
<p>警戒区域 特別警戒区域</p> <p>傾斜度30°以上で高さ5m以上の急傾斜地を抽出しています。</p>	<p>警戒区域 特別警戒区域</p> <p>溪床勾配が3°以上(火山砂防地域では2°)の渓流を抽出しています。</p>	<p>警戒区域</p> <p>地形図や過去の災害履歴などから判断して地すべりが発生する可能性があり、人家や河川などに被害を生ずるおそれのあるところを抽出しています。</p>

## 【コラム】想定最大規模の降雨とは

想定最大規模の降雨(※)は1,000年に1度の降雨を指し、本市では昭和32年に発生した諫早豪雨(瑞穂町24時間雨量1,109mm)が想定モデルとされています。

なお、1,000年に1度の降雨は1,000年ごとに1回発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が1/1,000以下の降雨を指します。

(※)浸水想定区域図は国・県が国土交通省「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き(R5年)」に基づき作成しており、その中で想定最大規模の降雨が基準とされています。